

「今日もいっぱいごはんを搾り取っちゃいますよ、マスタ—」

「ダイエットの為に…おっぱい搾るの手伝ってください。」

超乳爆肉

歌姫♥ニクさん



マスター、今日も下口下口で濃〜い汗をたくさんかいたわ〜

午前7:00

毎朝の目録のよつぱり100キロ近い巨肉が下半身に飛び掛る。  
自分の歌姫が一番可愛いよつぱり甘やかしてやった結果、発育過剰になってしまった  
ニクさん。巷で知られる歌姫とは程遠いハム体形になってしまったが、人権いへん  
おねだりするニクさんのお願いはよつぱりでも断れない…。







© 2005 GAINAX  
ALL RIGHTS RESERVED









イクッーアソコで…イヤサキううううううううー  
ああ、マスターのザーメンが…ニクの中に…ドクドク流れ込んでくるっー  
マスターの特濃ザーメン…美味しいでずうううー！





む、胸が…凄く勢いで…張ってきちゃった…  
今度は…おっぱいで…おっぱいで…

29







マスター……ミルクの練乳ぶたみるく……たへんを飲んでたわいな……  
まだまだいっほいでまますから……いっほい……いっほい……いっほい……









あれ？マスター、どうしたんです？そんなとこでゲッソリしちゃって。  
そればかりじゃ、断る手はないか？  
自分のミルクは別腹なんで飲んでても構いませんよ。お腹が空いたら飲んでください。







お入道でえちなんて…変態すぎですよ、マスター。  
…うわぁ、おなかの中でおち○ちんの先っぽがとんとん大きくなってる…  
気持ちいいなういじです。





きゃあ...もう出ちゃったんですか...?  
こんなだらしないお腹とおへその肉で気持ちよくなってくれるなんて...



今度は横からですか？  
もちろんマスターが気持ち良いならニクも嬉しいですけど…  
マスターのザーメンと脂まじりの汗でぬるぬるして…爽やかな気分になっちゃいます…





はぁ…はぁ…  
贅肉犯されて…感じちゃうなんて…ぶたさん以下だよ…  
お、おっぱいが…張って…もう…で…でぢゃうううう！







マスター……ふうふうのき……いじぢぢ……

午前11:00

贅肉スリに目覚めたのか今度は尻の肉こじこじほじこじおねだりをこじこじだ。  
蒸れ蒸れの尻肉をぶるんぶるんと揺らすクマの推売に我慢をこじこじほすまなへ...



マスター、今度は...こじこじで、  
もうローションはいらないですよ。こんなに汗でぬるぬるなんですから。











さあ、マスター……きついなさい







マスター……きで、一緒に……いってえー！  
ニクも……お尻で感じちゃって……ミルク噴き出しそうなのよー！







お尻のお肉までマスターに食べられちゃいましたね。

午後12:30

買い物に出かけた物の忘れ物を取りに戻ってみると消したはずのパソコンに電源が入っていた  
ニクさんが電子空間に居るのだからと中を覗いてみるよ...









マスター…我慢できなげんがー  
ママ○肛も…ママ○肛も木のVはたさー





© 2014 GUST. All rights reserved. [www.gust.com](http://www.gust.com)









もう……どうにもまじりたくない……  
マスターに壊されるなら……本望です……  
マスターのザーメンミルクで……ニクを……ニクを……





ぶっ壊してええええ！







ニクを…マスターの肉垂にい…!



あ…。マスター…

えーど、本田はお口柄もさへ…。

いやあ最近のゲームって凄いでせうかあ…。

キアラの顔や体形をインペリアルに近づけようって思ってたんだらうなとてあま。

ニクも流行に乗り遅れないようにせうかを調査しようじゃあ。

えーどですあ、えー…





ひん、ひんをさーい。

1111

午後1:00

エロゲで複数の自分とセックスしていた事入のお詫ひにとパンクに張ったおっぱいで  
「奉仕したい」とのこと。返事をあつちを待たせられ服を脱がされ爆乳で押しつぶされた  
自分には拒否権はないことだ。

…ただそれになつたのはおっぱいを握りかきこむのがゴキゲンで…キリキリして四回ほどおっぱいを握りかきこむと…おっぱいも…おっぱいも…おっぱいも…





マスター、遠慮しないでください。おっぱいを出してあげたいです。とりにゃんこも自慰を10分くらいしてあげてください。



ごうごうと汗と脂でめりめり気持がよいわー  
ニクもおっぱい自体が性感帯だからいとも気持がよいわー







ふふっ、マスターの亀頭、今にも張り裂けそうですよ〜  
ニクも…そうそう…イヤじゃないんです…  
一緒に…誰の…ななまはすさいませ〜っ…







マスターのザーメン、とっても美味しかったですよー！  
たくさん回がなほってんたけいおな〜







.....おっぱい.....お尻.....おまんこ.....









Copyright © 2008 by G. P. Putnam & Sons, New York, NY. All rights reserved.



午後3:00

薬がなじむ前に噴き出したにもかかわらず、ミクさんの胸はむくむく大きく膨らみ、  
倍以上まで育っていました。あのままでは胸の付け根に負担が掛かり、お尻の  
特製の服で胸を引き上げ、アンカーで乳首を吊り上げるといいのだが……

























「マスター、見てくださいー！  
あんなに肥大していた乳首が小さくなってしまいました。  
（これならすぐふた肉卒業です）」

午後5:00

2時間におよぶ搾乳により、ニクさんのおっぱいは若干ではあるが効果がでてきたようだ。  
とは言え大きくなった乳輪と乳首が少し縮んだだけなのだと元と比べるとあまり変わってない  
とも言える。このまま搾乳し続ければ少しは瘦せられるかもしれないが……

29





おっぱい、お尻、おまんこを揉むのは気持ちいいわ... 29





あはは、くすぐりたいなあ、暴れても無駄ですよ〜。  
マスターのファンコ、とんとん大きくなってますよ〜



こんなに勃起しちゃってるならもう同意しちゃったんじゃないですか  
一緒に気持ちよくなりませよ、マスター。





マスター、ニクのたがうに二股腹、気持ち良いですか？  
私は…もうイチャイチャです…マスターもお腹にたぐんたぐんしてほしい  
また太っちゃってもすぐ痩せられるんですし…  
マスター…出しますね…



イキますよ…マスター…！

29





すっごく…よかったですよ。マスター。  
そっだ、もっと速い事しましょっか。  
折角乳腺もゆるゆるになってるんですよ。

…ってマスター？  
息、とまっていますけど…？

ニクの全身肉ヌリで精液まみれになったニクさんの乳首と乳輪は見る見るうちに人の頭以上の大きさの乳輪と乳首ともある乳首へと成長していった。  
ニクさんの性欲はとどまる所を知らぬ、このままで異常な成長をしても、尻尾を止めようとはしなかった。自分の勃起乳首を「ム」におい込みながらもめねだりを止めない姿を見てもうニクさんの思っままにやらせてあげようと思えた。













きょろきょろあぁあぁ！マスターのザーメンミルク…乳首の中はびゅるびゅる汗っ！  
乳首マ○ロが…おマ○ロは上で感じちゃうっ！



はぁ...はぁ...ニクも...ニクも...  
乳首ち○ほで...イ...イ...ちやうちやうちやう!















…もう、我慢が…できないんです…  
ちよとでも気が緩むと…ミルクが…一気に上ってきて…ニクのおっぱいが…  
噴水になっちゃうんです…







マスター、イッてえー！ニクにザーメンぶちまけてええ！  
もっ…おっぱいがまたぬいぬい…早く…早く…早く…





ま、マスターのザーメンミルク。。。きたあぁ！  
やっばいっで。。。臭んで。。。おいしーですっうー！  
ニクも。。。ニクも。。。！







えへへ…もう…お肉で…  
マスターが気持ちよくなるまで…  
マスターが気持ちよくなるまで…

マスター、見て見て！コスチュームが入るようになりましたよ！  
ちまちまちぢぢぢだけと…これでもうハムどかワとか言わせないですよ！

数日後

ニクさんのおっぱいはあれからも順調に肥大し続けとっとう体の数倍にまで成長して  
しまった。搾乳マシーンと化して毎日何千リットルものミルクを搾り続けただけで  
衣装がきれるようになったと大はしゃぎ…でもどう見てもたるんだ贅肉を胸の谷間に  
挟んで隠してはみっつに見えるしおっぱいが衣装を突き破ってる時点で…  
あえて穿つ込まない方がいいんじゃないか。

歩く事も完全にできなくなったニクさんだけと相変わらず歌は上手いしミルクも美味いし  
何より本人が一番満足してるみたいなのでほくほくのままにしておけようかと思っ







えへへ、そんなに見つめられたら…おほいがミルクをいっぱい作っちゃいますよ〜  
もう破裂寸前だから…搾乳機のスイッチいれてくださいわ。



やみゃっぱり…おっぱい押し出すの…最高…  
あつあつと強くとっぺんたわ〜ん





はっ……マスター、おっほいで……イ、イきぞう……



イ、イクうううううう！  
吸い出される量よりたくさんなのミルクが…噴き出すうううううう！





この瞬間に……物足りないよ……  
乳首がもげちゃうくらい……強く押し出さ……  
でないと……おっぱいが……







マスター……あの、あの……  
「ごめんさい……！」

